

れいわ3ねんど 浅科小学校

がくしゅう  
学習のてびき

(1,2,3年生)

教育研究係



ねん くみ なまえ( )

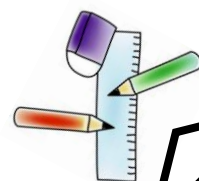
1.じゅぎょうのやくそく

- ① じゅぎょうが はじまるまえに がくしゅうのよういが してあります。
- ② はじまりのチャイムが なりおわるまえには せきについています。
- ③ なまえを よばれたら 「はい」と へんじをします。
- ④ はなすひとのかおをみて めと みみと ころをむけて ききます。
- ⑤ きくひとのほうを むいて こえのおおきを かんがえて はなします。
- ⑥ はなすときは じぶんのかんがえと りゆうを はなします。  
「わたしは～とおもいます。りゆうは～だからです。」  
「～さんのいけんにさんせい(はんたい)です。りゆうは～だからです。」
- ⑦ もんだいや じぶんの考え ふりかえりを わかりやすくノートにまとめます。



※ がくしゅうにつかう どうぐについての やくそく

- ⑧ しゅうちゅうを じゃまするような はでなものは つかいません。
- ⑨ えんぴつを つかい シャーペン は つかいません。
- ⑩ クラスや がくねんの やくそくを まもり いろペンなども ひとつようなぶんだけ よういします。



## 2. かていがくしゅう



どうして いえでも がくしゅうするの!?



がくしゅうしたことを わすれないため!

もっとできるようになるため!

ゆめを かなえるため!  
あこが 憧れのひとにちかづくため!



あなたのかんがえは?

ひとは だれでも「わすれる いきもの」です。がくしゅうしたことを わすれないために くりかえし がくしゅう しましょう。また いえでは じぶんのペースで がくしゅう できます。がっこうで よくわからなかった ところは、そのひのうちに もういちど かんがえて みましょう。まいにち コツコツと つづけると どんどん ちからが のびていきます。

### ① じかんのめやす

- 1, 2ねんせい・・・20分以上
- 3, 4ねんせい・・・40分以上
- 5, 6ねんせい・・・60分以上



※ちゅうがっこうでは・・・

中学1年:80分+α  
中学2年:100分+α  
中学3年:120分+α

### ② やりかた

- ☑**じぶんから** じかんになったら じぶんから がくしゅうを はじめられる ように しよう。
- ☑**あきらめない** わからないことが あったら きょうかしょやノートを みかえしたり、いえのひとやつぎのひせんせいに きいたりして わかるまで がんばろう。
- ☑**かならずやる** まずは、がっこうから だた しゅくだいを ていねいに やりきろう。

めやすのじかんよりはやくおわってしまったよ。どうしよう!?

☑**かんがえて がくしゅうする** じぶんで やりたいことを きめて ちょうせんしよう。

- ・もっとできるようになりたい、しりたいことについてのがくしゅう
- ・にがてなことを こくふくするなど

☑**おわったら** いえのひとに みてもらう

☑**つぎのひの** がくしゅうの じゅんびをする(じかんわり・えんぴつをけずる)





## ～ 保護者の皆様へ ～

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得するためには、望ましい学習習慣の確立が重要です。家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるため、また、自ら考え進んで学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。学校、家庭のどちらの学習においても、保護者の皆様のご理解とご協力は欠かせません。

保護者の皆様と共に、子どもたちの成長を支えていきたいと考えます。手引きを一読していただき、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校での学習を支える保護者の役割

#### ① 学用品の準備と確認

筆記用具やノート等の学習で使う学用品の準備をお願いします。筆記用具は、学習の集中の妨げにならない華美でないものを、ノートは成長段階にあったものをご準備ください。また、時々筆箱の中身をご覧いただき、不要物がなにかご確認ください。

#### ② 見届け・励まし

ご家庭で学校での学習について話題にしていただき、学校での様子を把握し、前向きな声かけをお願いします。

### 家庭学習における保護者の役割

#### ① 学習時間の確保

宿題や習い事、社会体育など、子ども達はいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで学習する」ということを家庭でよく話し合ってください。

#### ② 学ぶための環境づくり

規則正しい生活習慣が大切です。早寝、早起き、朝ご飯で生活のリズムを整えましょう。また、テレビやゲーム、音楽など学習の妨げになるものは消し、お子さんが、誘惑のない落ち着いた環境で集中して学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

#### ③ 見届け・励まし

子どもの取り組みにできるだけ目を通し、声をかけてあげてください。褒めたり励ましたりすることで、お子さんはどんどんやる気を出します。低学年のうち、お子さんの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるとよいと思います。徐々に自立を目指していきましょう。

#### ④ 学校との連携

お子さんの学習の様子について気になることは、どんな些細なことでも担任までお知らせください。